時事新報

戰勝、偶然ならず

今回の戰爭に付き日本の實力を世界に發表し國の地位を進めたるは疑もなき事實にして外國新聞紙などの記す所を見るに例の如く針小棒大の筆法を以て東洋達に一大强國を生じたりとてあらゆる辭を盡して賞讚する其中にも日本が暫時の間に斯る勢力を博したるは如何なる次第なりやと頗に怪しむの情もなきに非ざるが如し我國の事情に疎き外國人などの觀察には左もある可きことなれども抑も日本の發達進步は三十年來のことにして其間の艱難苦勞は一方ならず內外の故障もあれば自家の失策も少なからず或は前途の成行に望を懷きたるものなきに非ざれども國民の多數は其方針を改進々歩と一決して寸毫も躊躇せず路に横はる各種の障害を排して一直線に進みたる其結果として今日の發達を致したるものなり其事實は內外識者の認むる所にして今回の戰爭は唯固有の國力を發表したるものに過ぎず決して偶然の出來事に非ざるなり抑も國力發達の有樣を論じて喩ふれば人間身體の發育に異ならず人體に於ては四肢五官共に發達の度を同ふして其働に過不及なく心身活潑の狀を呈するに非ざれば之を稱して發育の完全なるものとは云ふ可らず立國の要素は一ならずして軍事と云ひ實業と云ひ政治と云ひ敎育と云ひ其役目はそれ〳〵異なれども何れも人間の四肢五官に比す可きものにして國力の發達とは是等の諸要素が銘々に發達しながら其進步の程を共にして一國全體の上に力を現はしたるものに外ならず吾々國民が卅年來の苦心盡力、その期する所は國力發達の大目的を達するが爲めにして或は政治家敎育家として國事の經營、學問知識の發達に心を勞したるものもあらん或は實業家として商賣殖產に勉めたるものもあらん銘々の辛苦經營は自から異なれども歸着する所の目的は何れも同一ならざるはなし今回戰爭の一擧に就て日本の國力を世界に發表したるは實に軍人の功勞にして我輩は國家の爲めに只管その功勞を謝するものなれども顧みて事の全體より見るときは其戰功も亦是れ國力發達の結果にして一般國民の苦心盡力が實際に其效を現はしたるものと云はざるを得ず例へば敵と戰ふに當り第一の必要は軍資金の供給にして若しも國貧にして其供給に乏しきときは如何に武勇熟練の軍隊を以てするも結局の勝算は覺束なかる可し切齒憤慨止むを得ずして敵に屈するの外なけれども我國の實際は如何と云ふに軍資の如き多々ます〳〵乏しきを患へず現に國民が一億五千萬の負擔を甘んじて毫も難色なきは自から日本人の特質とは云へ畢竟近年來商賣工業の發達進步尋常ならずして國內の富力を膨脹せしめ軍費の支出の如き綽々として餘裕あるが爲めに外ならず又海外の出師に就て最も注意す可きは運送力の如何にして日本が支那に比して出師の運動敏捷なりしは平生の心掛種々の點に於て彼に優るが爲めなれども就中航海業の進步は支那と同日の談に非ずして運送船を調達するに容易なり[illegible]特に[illegible]して機敏[illegible]外交[illegible]の一事に非ざるはなし試に敵國の有樣を見るに軍隊の兵器は我に比して精良なるにも拘はらず每戰敗北然かのみならず旅順口の砲臺は世界屈指の構造にして天然人爲の要害を極めながら僅々數時間の攻擊に堪へずして敢なく陷りたるが如き彼の兵の卑怯にして且つ紀律の整はざるが爲めなりとは云へ護國の兵士をして斯る情態に陷らしめたるは彼の社會全體の腐敗に原因するものにして立國に必要なる諸般の要素、一として見る可きもののなき其の中に獨り銃砲器械の類を精選したればとて何の用に立つ可きや彼の海軍が日本に比して優勢の戰力を備へながら黃海の一戰に敗北したるも亦此の邊の事情に外ならず彼我相對して勝敗の分るゝ相違を尋ぬるときはます〳〵我が成功の偶然ならざるを知るに足る可し即ち外國人などが今度の擧動に就て頻に怪しむは畢竟皮相の見に過ぎざれども我國人たるものは此際機會に際して單に戰爭の一擧のみに心を傾くることなくます〳〵實力を發表してます〳〵地位を進むるの覺悟なかる可らず目下の戰爭中に其事を求むれば[illegible]に定期航海を開て運輸交通の便を謀るが如き朝鮮の[illegible]を擴張して商權を我に收むるが如きは最も急なるものにして其他種々の事業は尙ほ多々なる可し我輩は日本國民が遂に是等の事業に着手して戰爭外の功績を收め國力發達の實を發表して日本が今度の戰爭に地位を進めて世界强國の列に入りたるは決して偶然ならざるの事實を滿世界に示さんことを希望するものなり

雜報

○征淸再從軍記（第九報）

一月九日金州發　第二軍司令部付　特派員　堀井卯之助

●ノルデン新式の速射砲

金州城內に於て分捕りたる兵器中最も新式にして鋭利なるはノルデン式の速射砲にして余は昨日野戰砲廠を訪ひ森田大尉に導かれて同砲を見且つ同氏の說明によりて其構造を審にすることを得たり分捕の同砲は都合十六臺にして一臺に四門の砲身を幷べ筒の長さ大凡四尺餘、彈丸は直徑一インチ、ブリキにて造りたる長方形の鑵に此彈丸十發宛を入れ筒下の穴上に之を安置し一人にて機械を動かせば丸は一時に四發宛十回連發し以て敵を射擊するの仕組なり砲身の一部に金陵機器總局製造、欽差大臣李などゝ鐫印しあり此鋭利なる砲身幷に彈丸の一度も使用されずして其儘城內に捨てありしは支那人の怯か抑も亦我軍の勇歟

●愚も亦極まる

此の如き鋭利なる兵器は使用されずして道光年間の製造に係る舊式大砲は支那兵の爲めに使用されたるなり而かも彈丸の直徑と砲身とを一致せざるより丸を蔽ふに麻を以てし以て其直徑を大にせんと務めたるが如し大尉は此丸を示し此の如き兵は決して我の敵にあらずと云へり[illegible]に一砲兵あり余に向て曰く君請ふ其砲身を截せたる車輛を見よ是は今回新に製造されたるものにして其不調截なるは言ふを要せず若し之を挽き回らんとするに當り車の兩折に遭へば車輛の兩輪沒して容易に進む能はざるなり彼の猥瑣に笑ふべしと余は此說明を聽き[illegible]に此處に至るを嘆じ更に傍を見れば[illegible]種[illegible]數百挺となく積上げられてあり鑵に此銃を見たる際如何に支那人と雖も文明日進の今日、よも此銃を使用せざるべしと考へ居たるに今之を檢し木製の砲身中新に鑄造したるものあるを見、日淸戰爭後此銃を造り以て我兵を防がんと務めたるの證跡を得益々彼の愚昧なるに驚きたり大尉又曰く過日大連灣の海岸砲を檢したるに込めある火藥の下層には豆若くは黍を入れありしと鋭利なるの兵器も其使用法を知らざれば人を殺すに足らず假令其使用に巧みなるも肝腎の彈藥なくんば戰鬪する能はざるは勿論なり支那兵の敗北偶然にあらず

●憲兵百二十八名の來着

昨日廣嶋を出發したる渡邊大尉岩田中尉及び憲兵百二十八名は本日當地に來着したり同兵は半ば第二軍司令部付を半ば金州行政廳付を命ぜらるゝよしなり

●戰死者の法會

[illegible]に[illegible]る如く今回當地に來着したる各宗の[illegible]に佛壇を設け造花、干物などを供へ[illegible]等あり四時過に至り一同散會せり

●車夫及び人力車

[illegible]大連灣入港の汽船にて人力車二十臺と車夫數十名來着し直に金州へ輸送されたり陣中、人車を走らす又一奇觀と云ふべし

○倫敦特電（二十一日發電報）

[illegible]の報ずる所に依れば米國々務卿の訓令に從ひ[illegible]日本政府に報告して[illegible]りしは同氏が一個人の意見に出でしものにて米國政府の毫も與り知らざる所なりと

○地震（前號附錄再錄）

右の如くハンボルト及びブッフの地震說は地球の內部が都て溶解したる熱物なりとのみを假定するものなれども近來理學の進步するに從て此假定は次第に益々信據し難き想像となれり即ちフーリエー、ブアッソンの二學者は數理上より之を研究して其頗る疑はしき次第を說明し爾後サー、ウヰルリアム、トムソン、ダルウヰン、リード、フヰシャー、ウードワード等諸氏の研究に據て地球の內部は溶解物を以て充滿し唯外面に薄き圓形體の硬皮あるのみとの說は愈々益々不確かのものとはなれり物理學者にして右の如く地球內部の組織に付き確然たる所見なき以上は地質學者は唯此問題をば尙ほ人智の外にあるものとして不問に附し去り專ら地球の表面に現はるゝ動學上の作用を考究するの外なし殊に地層が水の爲めに冒されて墜落するのみ、河川が絕えず多量の土砂岩石等を遠距離に運び去て土地の平稱を破るのみ、地層の側面的壓力、地下の化學的作用、岩石の結晶の如きは何れも火山、地震の現象を惹起すの原因として研究す可きものなり

左れば今日地震學を研究する者は專ら右の如き一地方に限られたる現象に注意して地震の原因を求むることゝなれり蓋し單に火山の作用より生ずる地震が間々なきにあらざれども是種の例は寧ろ少なくして且つ其影響を及ぼす面積も狹小なり大概の場合に於ては地震の原因は地層の[illegible]に在るもの[illegible]世界中何處にても硬固なる地層の間に[illegible]より[illegible]に浸さ[illegible]る柔軟なる地層